

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム かがやき

(ユニット名) 2階ユニット

記入者(管理者)

氏名 榊原あや

評価完了日

平成 20 年 4 月 30 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)  地域の中で、暮らす大切さは、理解しているが、現在入所されている方は、地域外からこられており、特に地域密着の理念とはなっていない。		入居された方が、その人らしい暮らし方が続けられるように、理念と目標をつくっている。
			(外部評価)  事業所は「共に生きる 共に歩む」という理念を掲げ、利用者の暮らしを支え、取り組んでおられる。		さらに、地域と密着した事業所を目指していくために、事業所では、どのようなことをすすめていくのかということについて、この機会に話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)  日々のケアの場、ユニット会などで話し合い、理念に基づいたケアをめざしている。		
			(外部評価)  法人代表者は、新人職員の研修期間等に、事業所の理念について話しておられる。		さらに、事業所が目指すことをすべての職員で共有しながら、ケアに取り組めるような仕組みを充実していくことが期待される。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)  家族には、入居時、面会時などに説明をし、地域の方には、近所づきあいの中や、運営推進会議などで、話す機会をもっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 隣の方とは、気軽に声を掛け合ったり、日常的な付き合いをさせてもらっている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ホーム設立時に、町内会長さんと話し、溝掃除、秋祭りなどの行事に参加している。  (外部評価) 事業所の敷地内にゴミ置き場を設置し、近所の方達にも利用してもらっている。散歩や買い物、近くのお寺にお参りに出かけ、あいさつすることを心がけておられる。		地域の方達に事業所のことをさらに知っていただけるような事業所独自の取り組みが期待される。地域性のあることもあり、むずかしい面もあるだろうが、地域とともに歩み、一つずつからでも理解を深めていただけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 特別には行えていない。		地域の方から相談などあるときには、できることがあれば、協力していきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を今後のケア向上に生かしたいと考えている。  (外部評価) 主任が全職員に、サービス評価の意義や内容について説明し、皆で自己評価に取り組みました。職員は、外出の機会を増やし、利用者の生活を助けられるよう支援していきたいと話しておられた。前回の評価結果を受けて、重度化、看取り時にご家族と電話等で連絡する機会を増やし、連携を図れるよう取り組みました。		具体的な改善を行っていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			地域の方から、地域の高齢者の様子を聞いたり、自分たちの取り組みを聞いてもらっている。		
			(外部評価)		
			現在は、近隣の方のみが会議に出席してくださっている。会議時、介護についての質問に法人代表者が答えられたり、グループホームへの入居条件についてや認知症についても説明をされた。		会議の機会をさらに活かせるよう、いろいろな立場の方に出席いただけるよう、働きかけの工夫を重ねていられることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			(外部評価)		
			法人代表者は、包括センター主催の福祉施設の集まりに参加し、制度のこと等、他の事業所とともに学んでおられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			現在活用されている方がいない		地域福祉権利擁護事業、成年後見制度について、学びかきをつくる。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			事業所内では虐待防止している。自宅については、現在訪問する機会がなく、確認は難しいと思われる。		高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会をつくる

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者、家族と十分に話し合い、理解・納得を得るようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 食事や生活にかんすることは、すぐに解決を図っている。他の利用者に関する苦情が多く、本人の希望と、周りの利用者三の兼ね合いが整えば、改善している。		外部者への苦情の表出のために、必要な準備など話し合う
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時や、個々に合わせて報告行っている。		
			(外部評価) 毎月来訪されるご家族が多く、その都度、金銭管理、健康面、日々の暮らしの様子を報告されている。又、来訪のむずかしいご家族には、毎月、状況報告書を送付されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族さんの苦情は、丁寧に聞くようにし、改善できることは、迅速に対応するよう、こころがけている。		
			(外部評価) 法人代表者は、ご家族からご意見を言っていたきやすいよう、言葉かけに気配りをされている。食事面の充実についてのご意見には、食事専任の職員を配置し、利用者の好みや希望を採り入れ、利用者が楽しく食事ができるよう改善をされた。		事業所は、今後もさらに、ご家族との関係を深め、気軽に意見等を出していただけるような雰囲気を作っていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員の意見は、ユニット会や日ごろの打ち合わせ時などに聞くようにしている。改善できる点は積極的に改善している。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者さんに合わせて、職員配置を考えて、調整に努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の退職がないように、困ったことないが、柔軟な対応を心がけているが、職員が個人的な理由で退職するのを防ぐのは難しい。利用者には、本人より、時間をとって説明してもらうことが多い。		長く働きやすい職場環境について、職員、運営者で話し合い、体制を考える。
			(外部評価) 法人代表者は、職員個々とのコミュニケーションの機会を大切にされており、個別に相談に応じておられる。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修を受ける機会は設けている。職員の段階に応じた、育成をする体制ができていない。		職員の段階に応じて、育成するための体制作り。担当者をきめる。
			(外部評価) 新人職員の研修期間には、レポートを作成してもらい、法人代表者と話し合う等、疑問や悩みを解決できるような仕組みを作っておられる。今後、職員が介護食の勉強に通われる予定となっていた。		さらに、内部、外部研修の受講等、職員が段階に応じ、スキルアップできるような仕組み作りが期待される。さらなる職員のスキルアップから事業所の質の向上を目指していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 運営者は、他の同業者と交流持つことあり、ネットワークづくりも少しずつできているが、勉強会などはできていない。		他の同業者との勉強会の機会つくる
			(外部評価) 地域の同業者と共に、医師に協力を得て勉強会を行い、知識や技術の向上に取り組んでおられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員個人個人との話の中で、悩みなどを良く聞くようにしているが、職員同士のかかわりの中でのストレスは双方に思いがあるため、すぐに解決が難しいときがある。		職員の間関係が良好になるよう、間に入って、対応する。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は、自身も介護職の経験もあり、それをふまえ、日ごろの職員の勤務状態、努力を把握している。向上心につながるような働きかけを心がけている		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居時から本人の訴えや不安点を聞くようにしている。ほかにも、日常の様子から、本人が求めていることを聞き取るよう、努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 電話で相談あったときから、不安や希望を良く聞くようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、本人と家族に必要な支援を考え、対応させていただいている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前に、できれば一回でも見学していただいたらと働きかけているが、緊急な場合や、家族さんの希望などもあり、すべてのケースではできていない。		本人が納得するような、段階を考えたサービス利用を働きかける。
			(外部評価) 入居前にご本人にお会いし、関係が作れるよう努めておられる。又、知り得た情報を職員全員で共有し、精神面もフォローできるよう努めておられる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 慣わし、家事、歴史等、さまざまなことを利用者さんより学ばせてもらっている。		
			(外部評価) 利用者が「わしが見よってやる」と他の利用者の傍に居てくれたり、掃除等、職員の手助けをしてくれることもある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)  一部の家族様とはできている。事情があり、家族と付き合い合えない方もいる。		事情がある方以外で、家族さんの面会ない方には電話などでも、交流の機会を増やす。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価)  家族と交流ある方には、よい関係づくりの支援を目指している。事情があって、家族と付き合い合えない方もおられる。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価)  一部の方のみできている。(地元を離れて入居されている方がほとんどである)		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価)  支援に努めているが、利用者さんのもつ障害で難しかったり、相性などもあり、すべてのかたが良いかわりにはできていない。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)  いつでも、気軽に来ていただいたり、声をかけていただけるようにこころがけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)  日ごろのコミュニケーションより、本人の希望を汲み取り、沿えるように努めている。  (外部評価) 利用者一人ひとりが何をしたいか、どうしたいかを知ることができるよう、職員は、利用者個々とのコミュニケーションを大切にされている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)  時間をかけて本人より、これまでの生活の話を聞いている。家族さん、施設であれば担当者にこれまでの経過を詳しくお聞きしている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)  一人一人の利用者さんの現状をトータルで把握するように努めている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)  入居時から、本人、家族の要望を聞き、介護計画を立てている。  (外部評価) ご本人、ご家族以外にも主治医の指導等を取り入れ、介護計画を作成しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			6ヶ月ごとに見直しであるが、変化があった場合は新たな計画を作成している。		
			(外部評価)		
			介護計画は、6か月ごとに見直しをされている。利用者個々に生活や身体についてのチェック表を作成し、計画に反映されている。体調の変化時や職員の気付き等があった時には随時、見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別に日々のケアの実践結果や工夫したことなど、記入している。情報共有し、日々にケアにいかしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人様、家族さんの要望に応じるよう、努めている。		
			(外部評価)		
			ご家族のご都合で病院の送迎や付き添いができないような時には、職員が代わって同行をされている。又、利用者が絵画教室へ出かける際には、職員が送迎されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価)  必要なときは、協力いただいている		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価)  必要に応じて、利用されるときは支援している。(訪問介護など)		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)  本人、家族さんの希望のかかりつけ医にしている。  (外部評価) 利用者は、それぞれのかかりつけ医を受診しておられる。協力医療機関の医師が、夜間等、全利用者に24時間対応してくださっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価)  協力と相談しながら、必要な場合は支援している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  必要な方には、医療活用の支援している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  早期退院に向け、相談させていただいている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  今までも家族さん、かかりつけ医と細かく相談して、最後までみさせていただいている。		
			(外部評価)  ご本人やご家族の希望等を聞き取り、希望があれば協力医療機関の医師の指導を仰ぎながら看取りを支援されている。ご家族との連絡を密に取り、協力を得ながら支援されている。		さらに、職員間で看取りや重度化についての知識や体制作りについて話し合い、かかわる人すべてで方針を共有しながら取り組みをすすめていかれることが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  かかりつけ医、家族とよく話し合っ、本人・家族の希望に沿うように努めている。変化に向けても、前もって話し合っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  十分に話し合い行っている。連絡など、すぐできるように情報交換している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>					
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ユニット会、打ち合わせ時など、徹底するように職員に伝えているが、できてない部分もある。</p>		<p>ケアの場面でのプライバシー、誇りについて学び、全職員が理解し実施できるようにする。</p>
		<p>(外部評価)</p> <p>お部屋で長時間過ごされる方には、職員が頻繁に居室を訪ね、声をかけるようにされている。</p>		<p>事業所では、職員の対応や言葉かけ等について、さらにスキルアップしていきたいと考えておられる。利用者主体のケアを目指し「ともに生きる」ための取り組みをすすめていかれることが期待される。</p>	
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>普段から、コミュニケーションの中で、希望を把握し、思いを表出できるよう、働きかけている。利用者が、自分で物事を決められるような説明を心がけている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>できるだけ希望に沿っている。</p>		
		<p>(外部評価)</p> <p>ビールを飲むのを楽しみにされている方やたばこを吸う方にも、健康や安全に配慮しながら支援されている。</p>			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 服装については、好みのものを身につけられる。理容美容については本人の希望のところへは一部の方のみ、でかけられる。		本人の希望する理容美容店へ、出かけられるように支援、実施。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 準備、配膳、片付けなどを、三分の一の方が手伝ってくださる。		
			(外部評価) 職員が、利用者個々に好みを聞き取り、献立を作っておられる。季節の旬の野菜や果物を採り入れ、おやつも手作りに心がけておられる。		さらに、利用者が食事にかかわるような場面を増やす等、利用者個々のできる力を活かして、食事をさらに楽しむ工夫を重ねていかれることが期待される。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 心身に負担でなければ、嗜好の支援は行っている。 (タバコ、お酒など)		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 常時オムツ使用の方が、三分の一で、定期的にトイレ介助、おむつ交換行っている。あとのかたは、一部介助などで、気持ちよく排泄できている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
				品人の希望に合わせ、入浴してもらっている。	
			(外部評価)		
					入浴が嫌いな方には、タイミングをみながら声かけされたり、夜間の入浴を希望される方にも対応されている。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
				生活習慣など大切にして、日中の活動量を体調に合わせて、調整している。	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
				役割、趣味のある方が三分の一である。(6名)	
			(外部評価)		
					利用者個々の趣味やお好きなことを続けていけるよう支援されており、庭のお花を摘み、居間に生けてくださる方もうかがえた。畑仕事を職員と一緒にされる方やぬり絵や俳句、短歌をたしなむ方もおられた。昼食後、皆で歌を歌っておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
				一部の方のみできている。	

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			一部の方のみできている。		外出を好まない方へも、庭に出るだけでも、勧めていく。
			(外部評価)		
			個別に「買い物の日」を週1回設け、近所のスーパーに出かけておられる。又、近くのお寺にお参りするのが日課となっている方や散歩に出かける方もおられる。外に出ることを嫌う方にも、外気に触れる機会が作れるよう声かけされている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			行えていない。		一人一人の希望を聞き、実現できるように計画を立てて実施。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			要望時支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも、気軽に来ていただけるよう、こころがけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はしていない。		介護保険指定基準における禁止の対象となる具体的な行為について勉強会行う。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵はかけていない。		
			(外部評価) 玄関に鍵をかけず、職員が見守りをされている。外出時には、居室に鍵をかけて出かけられる方もある。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) さりげなく見守り、必要時は声かけし配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意が必要な物品を使用される時は、見守っている。一人一人に合わせて、保管をしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止のため、事故報告書の活用、徘徊センサーなど使用し、防止に努めている。普段から、一人一人の行動パターンを把握し、職員間で情報の共有を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  緊急時対応の指示はあり、訓練を行っている。応急手当の定期的な訓練はできていない。		全職員の応急手当などの講習受講し、技術の習得。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  災害時に向けた対策・訓練を定期的に行う。隣近所の方とは、協力得られるように働きかけている。  (外部評価)  年1回、消防署からの指導を受け、消火器の点検や使い方等の説明を受けておられる。いざという時には、近所の方に駆けつけていただけるようお願いをされている。		さらに、いざという時にすべての利用者が安全に避難できるよう、事業所独自でも避難訓練等、方策を検討してほしい。又、そのような取り組みをご家族や地域の方にも報告されてはどうだろうか。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価)  利用者さんの現状から起こるリスクについては、電話、面会時などに説明を行い、理解・協力いただいている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  普段の体調を把握し、異変時にはすぐに運営者に連絡し、情報共有し、対応行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の処方箋のつづりをスタッフルームに保管し、いつでも見られるようにし、職員に理解してもらっている。症状に変化あるときは、すぐに協力医に指示を仰いでいる。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 野菜を献立に多く取り入れ、摂取をすすめ、日中活動量増えるように働きかけ、センナ茶なども使用している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後歯磨きの声かけ、介助している。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人に応じた食事量にしている。栄養バランスは専任の職員が考えて、食事づくりし、職員は一日の水分量を管理している。 (外部評価) 利用者個々の栄養状態や嚥下機能に気を配り、食事作りをされている。水分摂取量を把握できるようチェック表を作っておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 全職員が感染症予防の取り決めに従っている。インフルエンザは同意を得て、利用者、職員ともに予防接種している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>専任の職員が衛生管理をしている。調理用具、流し、冷蔵庫などこまめに清掃・消毒おこなっている。食べ残しは保管しないようにしている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>スロープ、手すりを配置している。ベンチを置き、座って靴の脱ぎ、履きができるようにしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共有空間は、清潔で居心地よいように、こころがけている。季節の花を職員が飾ったりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関には車椅子用のスロープが設けられ、玄関周囲から庭にかけて季節の花々や木が植えられ、ベンチが設置されている。居間からテラスに出られるようになっており、庭を眺められるようになっている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>二階入り口の義務所横にソファを設置している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居前に、なるべく本人の使い慣れたもの、好みのも を持ってきていただくようお願いしている。		
			(外部評価)		
			居室には、趣味のものを飾っておられる。ひ孫さんの 写真やご主人のお位牌を置き、毎日手を合わせておら れる方もいる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	(自己評価)		
			共有空間(リビング、風呂、トイレ)は一日に何回か換 気する。利用者に合わせた温度調整2している。居室は 全室換気扇と、空気の流れる設備がある。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	(自己評価)		
			必要な場所に手すりを備えている。リビングの椅子は 高さの調節可能。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	(自己評価)		
			一人一人に合わせ、失敗、混乱ないように見守りし て、支援している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭、ウッドデッキ、玄関の軒下にベンチを置いて、戸 外の空間を楽しめるようにしている。		

. サービスの成果に関する項目 2階ユニット		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	自分の役割など自主的にされている方が3名、自分のペースで過ごし、意見をはっきり言われる方が3名おられる。それ以外の方(事情があつての入居)も、気持ちの表出されている方が多く、希望をくみとるよう努力している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	重度化された方、1対1で介護の必要な方がおられ、このような頻度と思われる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分の生活ペースを決められている方が半数おられる。それ以外の方は寝て過ごしたいなどの希望あるが、日中と夜間のメリハリのため職員から働きかけて、リズムを作っている方がおられる。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居していることに対して、不満ある方や重度化されており眠られること多い方もおられる。それ以外の方は話を楽しんだり、趣味を楽しんだり、職員のかかわりで表情良くなる方多い。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出嫌われる方、体調気にされ出にくくなっている方おられる。買い物、絵画教室など出かけられている方もいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医が週3回訪問してくれ、本人の日頃の様子と違うことあればすぐに対応行っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人の希望に応じている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時、連絡時に希望を聞き取るように努めている。家庭の事情で面会の難しい方とは交流ない状態である。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	運営推進会議の時など、来ていただいているが、訪ねてきて下さる方は少ないと思う。秋祭りのおみこしは、毎年来て下さっている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	2か月に1度開けるよう、地域の方と話し合い行っている。会議の時は来て下さっているが、つながりが深まるまでには至っていないと思う。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の中には、とても仕事に意義をもって取り組んでいる方おられる。ただ、1階同様個人的理由での退職はあり、職場環境の改善目指している中でも難しい所ある。更に努力していきたい。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	要望を聞き取るように努めているが、重度の方の気持ちのくみとりや、入居に不満ある方の本当の満足とは、どうしたら得られるか、更に努力必要と思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会のある家族様とは、お話の中で不満やご意見いただいていると思う。対応も迅速を心がけている。面会のない家族さんもおられる。(満足度はわからない)

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

様々な、個性をもたれている利用者さんの、思いをたいせつにできたらな、と日々考えています。小さなことでも、ありがとうと返事が返ってきたり、家事を手伝ってくださったりの関係があって、ありがたいなと思っています。ケアプランのチェック表で、関わりに目標を持ち、変化がわかるようにしています。便秘のかたには、食事、運動など予防に努めています。